

- ・ PPEは、使用毎に行う通常の点検に加えて、定期的に適任者による詳細点検を受ける必要があります。ペツルは製品の使用期間を通し、12 カ月ごとの点検および特殊な状況での使用後の点検を行うことをお勧めします。
- ・ PPE の点検は、メーカー指定の点検方法に従って行ってください。

点検方法はペツルのウェブサイト [PETZL.COM](https://www.petzl.com) からダウンロードできます。

『ジグザグ』 / 『ジグザグ プラス』 / 『シケイン』

1. 製品履歴の把握

異常な劣化が認められる PPE は、詳細点検を受けるまで隔離する必要があります。

ユーザーは以下の事を行う必要があります：

- 使用状況に関する正確な情報を記録する
- PPE に生じた特殊な事象を全て記録する

(例: 用具の落下、墜落を止めた、極端な高/低温下での使用または保管、メーカー施設外での改造等)

2. 予備的観察

個別番号と CE マークが付いていることおよび判読できることを確認してください。

備考: 製品記載の個別番号のコード体系は変更されています。コード体系は2種類あります。それぞれのコード体系は以下を参照してください。

コード A:

00 000 AA 0000

製造年	_____
製造日	_____
検査担当	_____
識別番号	_____

コード B:

00 A 0000000 000

製造年	_____
製造月	_____
製造番号	_____
識別番号	_____

耐用年数を超えていないことを確認してください。

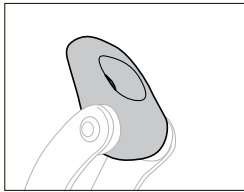
新しい状態にある同一製品と比較して、改造が施されていないことおよびパーツが欠損していないことを確認してください。

- ・ 特定のジグザグおよびジグザグ プラスは個別番号が変更されています (写真参照)。
- これらの製品は当社工場では安全点検を行いました。

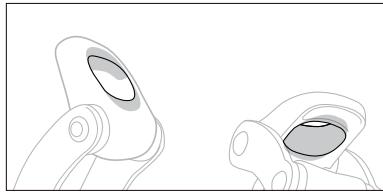
詳細は以下のリンク先をご参照ください
安全に関するお知らせ: 『ジグザグ』 『ジグザグ プラス』 『ジョン』 使用時に生じる滑りについて



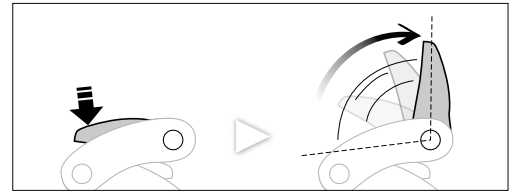
3. リリースレバーの点検



・リリースレバーの状態（傷、変形、汚れ、ひび等）を確認してください。



・ロープの摩擦による摩耗具合を確認してください。
摩耗が激しい場合は、8の手順に従ってロープのロックのテストを行ってください。

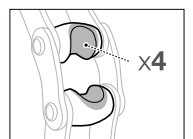
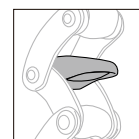
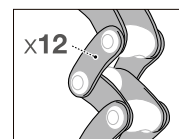
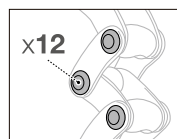


・スプリングの状態を確認してください。最低でも10回この確認を繰り返してください。

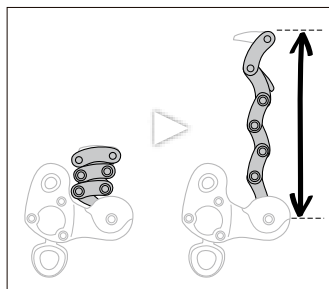
4. フリクションチェーンの点検



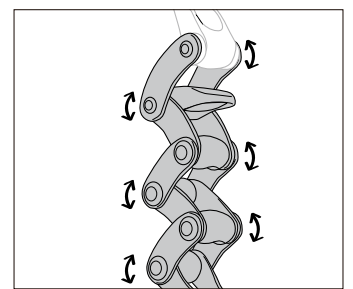
・フリクションチェーンの各パーツの状態を確認してください。
- リベット（ひび、変形、腐食等）。
- リンク（ひび、変形、腐食、汚れ等）
- リリースレバー（摩耗、変形、腐食、汚れ等）
- パー（摩耗、変形、腐食、汚れ等）



・フリクションチェーンを伸ばしたり折りたたんだりして、動きに問題がないことを確認してください。必要に応じて、中性洗剤と水で洗浄し、軽く潤滑剤（例：グラファイトパウダー）を付けてください。



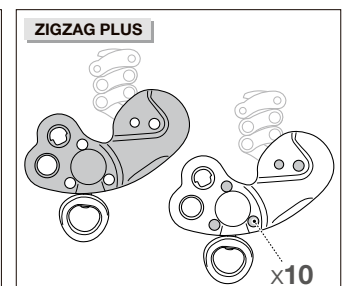
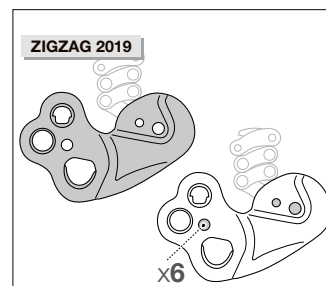
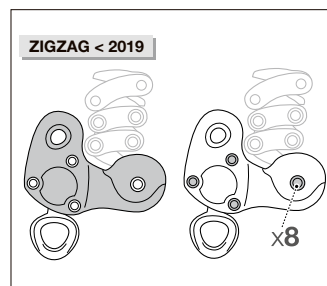
・各リンクを個別に点検し、ひっかかりがなくスムーズに動くことを確認してください。



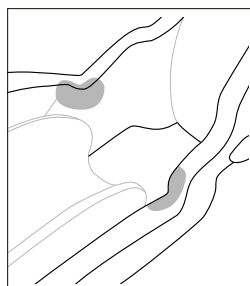
5. フレームの点検



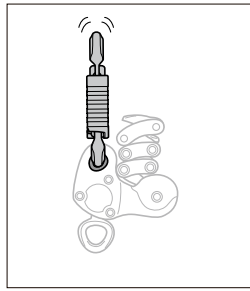
・フレームとリベットの状態（傷、変形、ひび、腐食、遊びの不足等）を確認してください。



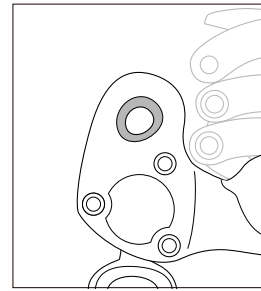
2019 年より前の『ジグザグ』については、フリクションチェーンがフレームと接触する部分の摩耗具合を確認してください。ロープを損傷させるような鋭利な角がないことを確認してください。必要に応じて、鋭くなった角を目の細かいサンドペーパーで丸めてください。



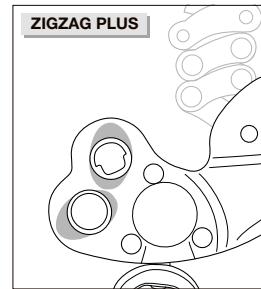
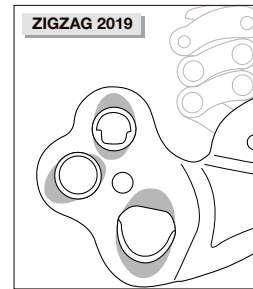
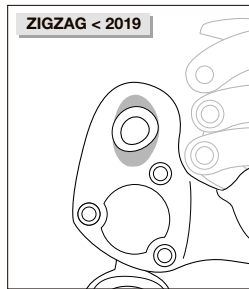
・コネクターを外す前に、ポジショニングリングによりコネクターがしっかりと固定されていることを確認してください。



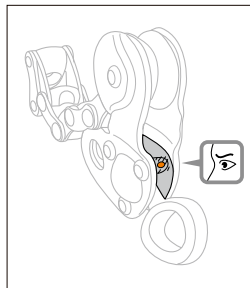
・ポジショニングリングの状態（変形、傷、切れ目等）を確認してください。
この部分に潤滑剤が付着しないように注意してください。カラビナを固定するため、この部分は乾燥した状態を維持しなければなりません。



・アタッチメントホルルの縁の部分に、コネクターによる摩耗がないことを確認してください。



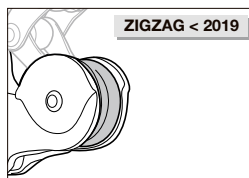
・プラスチックパーツの状態を確認してください。特にロープが通る部分は注意して確認してください。
プラスチックパーツが過度に摩耗すると金属製のリベットが見えるようになります。このリベットにも摩耗が認められるようになった『ジグザグ』は、廃棄してください。



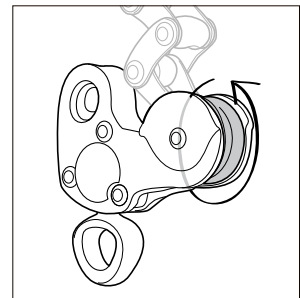
6. 滑車とスィベルの点検



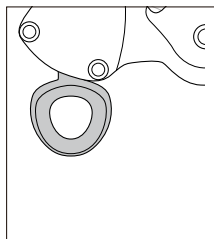
・滑車の状態（傷、変形、腐食、異物の混入）を確認してください。



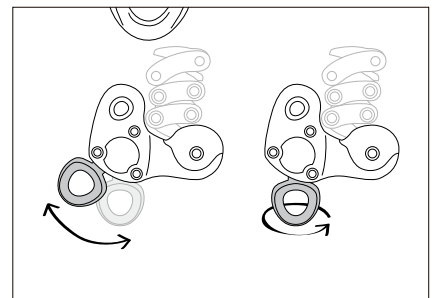
・滑車がスムーズに回転することを確認してください。



2019 年より前の『ジグザグ』および『ジグザグ プラス』については、スィベルの状態（ひび、変形等）を確認してください。

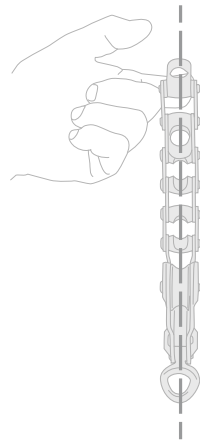


・スィベルがスムーズに回転すること及びスィベルとフレームの間にゆるみがないことを確認してください。
(必要に応じてグラフアイトパウダーで潤滑を施してください)



7. パーツの曲がりやねじれの点検

・『ジグザグ』のリリースレバーをつかみ、フリクションチェーンを伸ばして吊るしてください。チェーンとフレームが真っ直ぐに並んでいることを確認してください。



8. 機能の確認: ロープのロックおよび荷重がかかった状態でのロック解除

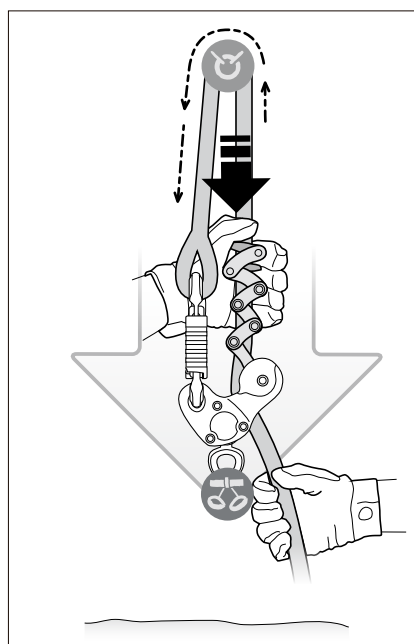
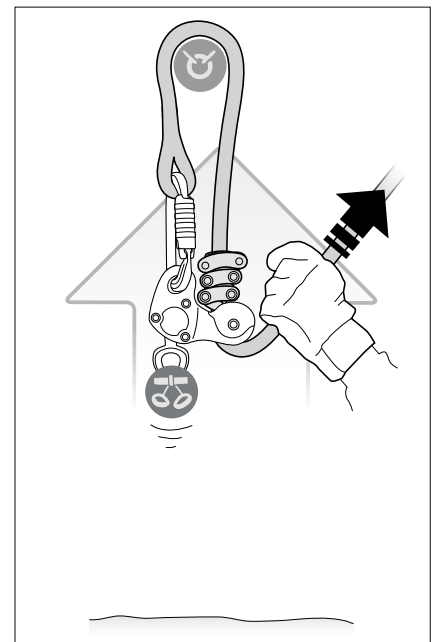
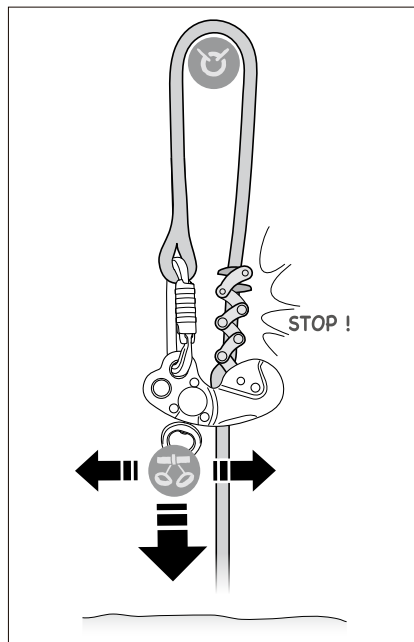
メーカーが推奨する範囲 (11.5 ~ 13 mm) で、直径の異なる複数のロープを使用してください。

『ジグザグ』を通常のシステム (ダブルロープの設定) にセットして、地上レベルで器具に体重をあずけてください。

・通常のシステム (ダブルロープの設定) にセットした状態で体重をあずけた時に滑らないことを確認してください。

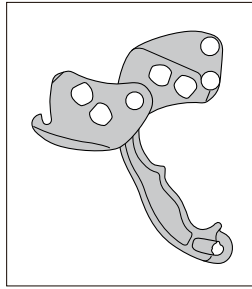
・『ジグザグ』の下から出ているロープを上へ引いた時に、器具が上にスライドすることを確認してください。

・リリースレバーを押すことで、ロープがスムーズに流れること及びその流れをコントロールできることを確認してください。

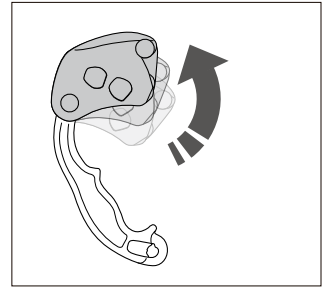


9. 『シケイン』 の点検

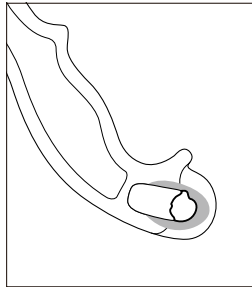
・ ハンドル、フレイムおよび可動サイドプレートの状態 (傷、変形、ひび、腐食等) を確認してください。



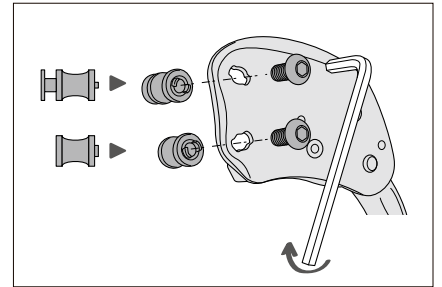
・ ハンドルとフレイムの接合部にゆがみがなく、スプリングが適切に戻ることを確認してください。



・ アタッチメントホールの状態 (摩耗、傷、ひび) および、コネクタの位置を適切に保つパーツが良好な状態で適切に機能することを確認してください。



・ フリクションピンが締まっていることおよび状態 (摩耗、変形、腐食) を確認してください。必要に応じてピンを回転させて接触面を変えるか交換してください。



・ オープンボタンの状態 (傷、摩耗、よごれ) および可動サイドプレートが適切に閉じることを確認してください。

